



おたけさん  
大澤完治さん ③

岡目八目



16年ほど前、娘の奈留美（大澤四段）から「菊池康郎先生がお話したいことがあるので、中野の緑星本校に来てほしい」と電話がありました。菊池先生は有名な緑星学園の創設者。お会

いすると「子供教室を始めたい」とお話をしました。さっそく「緑星さいたま」と名乗らせたいお話をしました。当時は漫画「ヒカルの碁」ブームの直後で、小中学生が目の色を変えてグループで碁会所に来ていた時期でした。菊池先生と初めてお会いしたのは、奈留美が小学5年の時。夏の少年少女囲碁大会・埼玉県代表選抜大会で3位に終わり、県代表にはなれませんでした。ちょ

### 「緑星さいたま」名乗り教室

うごこの頃、アマ日本一の菊池先生が開校した緑星が東京・新大久保にあると知り、お会いしたのです。駅前の喫茶店に「やあやあ」とこやかに現れた先生の清々しい姿を見て、「一流の人は違うものだ」と感じました。すぐに娘のご指導をお願いしました。

その年の秋から奈留美が、また妹・摩耶（当時小学3年）が半年遅れて緑星に通い始めました。当時の緑星では、山下敬吾（現九段）兄弟、秋山次郎（同）、溝上知親（同）など、奈留美と同年配の俊英が多数勉強していました。そうした環境に恵まれ、奈留美は翌年の少年少女大会で全国6位に入賞できました。昨年夏にプロ入りした初段の大須賀聖良は摩耶の次女です。これからも「緑星さいたま」は、日本の優れた伝統文化である囲碁の素晴らしさ、楽しさを伝え、普及活動を積極的に推進していきたいと考えています。（緑星さいたま代表）